team食育　議事録

2015/11/26

文責：野中

13:00～16:00　参加者：青山、井上、田崎、古谷、野中

◆調査・考察の内容

◇栄養教諭配置率

・東京：低い　鹿児島：高い

→東京での食育がうまくいっていれば、栄養教諭は不必要ということになる？

　　　　　　　　うまくいっていなければ、栄養教諭は必要？

◇栄養教諭制度

・学校栄養職員からの任用替えには在職実績が必要

・東京都は12年必要との記事→近年は6年に短縮されていることが判明

・東京都では栄養教諭の新規採用は行っていない

◇給食の調理形態と食育との関係

・栄養教諭配置率の低い東京では単独調理（学校ごとに調理する形態）が多く、配置率の高い北海道では共同調理が多い

・共同調理だからといって給食時間に食育が不要になる理由は？

◆論の草稿

P.P. 食育不足

食育の機会を増やす→給食

給食の効果高める→栄養教諭

BUT

自治体によって配置率に差がある

東京都は配置せずに食育→栄養教諭重要視してない

→栄養教諭必要か？

→食育の中核に置かれている

→R.Q. それなのに広まらないのはなぜ？ （ここの文言要検討）

仮説

学校栄養職員と栄養教諭の役割が重複している（栄養教諭が、「教諭」ならではの働きをできていない）

〈宿題〉

・学校栄養職員と栄養教諭の定義上の違いと実際の違い（役割が重複していることを証明）

（古谷、田崎、野中）

・栄養教諭ならではの取組み事例

（青山、井上、田）